

1997-98年度 会長 亀崎 重則

R I会長のテーマ「ロータリーの心を」・ガバナーの地区目標「気遣いある明るいクラブ」に基づいて北ロータリークラブでは、親しみのある心の和む雰囲気、しかも活気のあるメンバーが集うクラブを目指したいと思います。4大奉仕に深く関心を持って積極的に参加し、実践の成果を喜びたいと考えます。

北ロータリークラブも創立以来15周年を迎えることになりました。「樹を育てるより人を育てよう」のスローガンのもと、今日まで成長して参りました。15年間の実績を踏まえ次の世代へと新しい一歩を踏み出す時であると思います。

自らを育て会員相互で切磋琢磨し、クラブが楽しく集えるオアシスであり、力を貯える場となる様に努めて参ります。15周年の事業として、1年間を通じての計画を作ってもらおうべく委員会に考えてもらいます。

本年は、次のことを計画し目標とします。

1. 会員相互の密なコミュニケーションを図る。
2. 奉仕活動に参加する。

●クラブ作りはコミュニケーションから

クラブ運営に必要な情報は全会員に伝わる様にする。ロータリーに関する情報は全員が共有しなければなりません。このためには、話し合う時間が必要です。クラブフォーラムの活用が一番です。

会員の思いがクラブ運営に反映される様にクラブフォーラムで話し合う方法なども研究する必要があります。

会員が積極的に話し合いの場に参加し意見を出して、親しみを深めましょう。そこから素晴らしい身近な提案も考えられるでしょうし、楽しい雰囲気作りにも役立つと思います。

しかし、話し合いは何時も何かを作り出そうとする積極的姿勢のものが良いと思います。話し合いのやり方は色々ありますので勉強したいと思います。話題には事欠かないと思います。学習しなければならないことが沢山あります。先輩の意見を聞き、又お互いの体験の発表などは信頼を作る近道であります。

※テーブル会は何よりのコミュニケーションの場です。今年はテーブル会のやり方など考えて戴き、回数を重ねて開催することを薦めます。

※ニコニコ箱は会員のミニ情報の交換の機会であり、会員の心の優しさを示すものであります。いま一工夫してみたいものです。

●何でも気軽にやってみて、接してみることが奉仕の実践の始まりと思います。各委員会では、それぞれに奉仕の計画を立てられます。会員の皆さんに呼び掛けて参加してもらおう様にしましょう。会員は一つの奉仕体験だけでなく複数の計画に参加しましょう。

その実施は、計画の中でこれも又委員会を越えたメンバーで考えることも一つの方法かと思います。

私達は、毎日自分の職業を通じて会社に奉仕しています。

このことは、今一度振り返ってその意味合いなどについて考え、ロータリーのテキストの職業奉仕のページを開くことが大切でしょう。

活動する仲間を増やすことはR I会長も強調していますが、私達のクラブでも、毎年度掲げながらも達成出来なかった会員70名確保について、本年度は緊急最大の課題であります。

メンバーを増やし、多くの職業体験を通じての知識、情報を交換することがクラブの活性化につながると思います。

会員増強の具体策を立てましょう。

以 上